

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和6年 7月 16日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人ワインツーリズム	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	山梨県山梨市、山梨県笛吹市、山梨県甲州市	
所在地	山梨県甲府市丸の内1-16-13 ヤマサビル/山梨県甲州市勝沼町小佐手193-3	
設立時期	2015年6月1日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	7人【常勤3人（正職員3人）、非常勤4人】	
代表者	大木 貴之 （一社）ワインツーリズム 代表理事 LOCALSTANDARD(株)代表取締役	・コンサルティング会社の（株）知性コミュニケーションズで5年間勤務 ・飲料、食品、建築、金融、教育などの一部上場企業から海外ブランド商品まで様々なジャンルの企業のプロモーションに従事 ・2015年に（一社）ワインツーリズムを設立し、代表理事として地場産業であるワインを使った地域ブランディング・プロモーション事業である「ワインツーリズム」を考案（平成21年に商標登録） ・2008年よりイベント「ワインツーリズムやまなし」を実施し、地域連携させ交流人口の増加に成功（最大山梨県内7つの市で同日開催）。 ・全国各地からの本手法の視察や講演などを受けノウハウを説明することにより、本手法を活用し「酒蔵ツーリズム」「焼酎ツーリズム」「オープンファクトリー」などが全国各地に普及 ・ワインツーリズムは山形、岩手、宮城、鹿児島など全国各地でも行政や組合、住民を連携させ成果を挙げている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー）	大木 貴之 （一社）ワインツーリズム 代表理事 LOCALSTANDARD(株)代表取締役	（前述） ※登録DMOに向けては、専従者を雇用する予定です。
財務責任者	鶴田 真也 （一社）ワインツーリズム 理事	・甲州市勝沼町出身で平成29年に（株）鶴興社を設立し、代表として対象地域のブドウ・ワイン関連をはじめ、各種イベントやまちづくり事

(CFO: チーフ・フィナンシャル・オフィサー)	(株) 鶴興社 代表取締役	業を創出。 - 当法人の持続可能な運営のため、対象エリアを日常的に駆け巡り、官民間わず関係を構築 - 行政やワイン協会、観光協会、温泉旅館組合等からの信頼が厚く、運営収支や財源確保の面で奔走するだけでなく各所からの行政予算の獲得や施策相談も受ける。 - 令和3年に(株) まちづくり石和を設立。石和温泉街の活性化、まちづくり事業にも従事。
事業構築・運営の責任者	鶴田 真也 (一社) ワインツーリズム 理事 (株) 鶴興社 代表取締役	(前述)
旅行商品の造成・販売の責任者	須藤 治憲 (一社) ワインツーリズム 理事 (株) タビゼン 代表取締役	2011年に(株) タビゼンを設立し、代表として山梨県の着地型旅行代理店として10年活動 - ワイン、ブドウ、狩猟、農業などの地域資源を活用した専門特化型のコンテンツを中心に旅行商品を造成 - 都内の企業の需要に応え、富士山やフルーツ狩り、ワイナリーなど山梨の名所を楽しむ旅行商品を造成し、地域外からの人流を増加させてきている。
事業計画・財務アドバイザーの責任者(専門人材)	藤原 範夫 個人	- 中小企業診断士(平成19年) - 専門分野は、第1次、第2次、第3次産業まで業種を問わず、事業戦略の策定や実行支援及び販路開拓支援や連携支援を行う。特に地場産業の活性化をはじめ、地域資源を生かした取り組みに注力をしている。 - 山梨県中小企業経営革新サポート事業(ハンズオン支援チームプロジェクトマネージャー) - 山梨県商工会連合会 登録専門家(専門家派遣事業) - 山梨県事業継承・事業引継ぎセンター(エリアコーディネーター) - 山梨県農業経営承継支援事業(サポート専属スタッフ) 県、市町村における事業(委員長、委員等)(公財)やまなし産業支援機構設備貸与事業審査委員会 委員 2012年度～ 山梨県中小企業高度化資金貸付金管理審査会 委員 2013年度～ 山梨県立リニア見学センター 指定管理者選定委員会 委員 2022年度 山梨県「美酒・美食王国やまなし」ブランド確立業務委託審査委員会 委員 2023年度 やまなしイノベーション創出事業費補助金(経営計画等)事業 審査委員 甲州市 商工業振興計画策定委員会 委員 2023年度 甲州市 指令管理者選定審査会 委員 2024年度～

		山梨県商工会連合会 美味しい山梨を創るプロジェクト 委員 2011 年度～2013 年度 中小企業庁 地域創業促進支援事業 全国創業スクール選手権 1 次・2 次審査 委員 2012 年度～2018 年度
広報の責任者（専門人材）	島田 梨紗子 個人	・ 2019 年度 Miss Wine で準グランプリを受賞 ・ （一社）日本ソムリエ協会のワインエキスパートを取得 ・ 日本ワインを主軸としてワインの魅力を伝えるインフルエンサーとして全国で活動 ・ ブドウ畑での作業や醸造家のインタビューなど「現場」での活動を大切に、当事者の声を拾いその体験を発信 ・ 現在は、日本ワインのインフルエンサーとしてだけでなく、ライターとしても活動を拡大
インバウンドの責任者（専門人材）	三森 なぎさ 個人	・ 甲州市勝沼町在住。1982 年甲府市生まれ。 ・ 1999 年アメリカニューヨーク州 Arkport Central High School へ留学 ・ 2009 年より JICA 協力隊員としてキルギス共和国アルシュ村赴任 ・ 2013 年山梨県で英語教室を開校 ・ 2016 年山梨県地域限定通訳案内士取得 ・ 現在は甲府市と甲州市で英語教室を主宰する傍ら、通訳としても精力的に活動している。 ・ 日本遺産～葡萄畑が織りなす風景～ガイドマップ制作の翻訳 ・ 世界農業遺産「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム」FAQ 現地審査員の通訳
会計の責任者（専門人材）	井上 文人 井上文人税理士事務所	・ アーサー・アンダーセン・アンド・カンパニーに 4 年勤務後、甲府に戻り実家の税理士事務所を継承 ・ ワインツーリズムの税理士として 2012 年から参画
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	・ 山梨県観光文化・スポーツ部観光資源課 事業運営サポート、プロモーション ・ 笛吹市産業観光部観光商工課 社会資本整備、イベント・プロモーション ・ 山梨市観光課 社会資本整備、イベント・プロモーション ・ 甲州市観光商工課・甲州市勝沼ぶどうの丘 社会資本整備、イベント・プロモーション	
連携する事業者名及び役割	<観光協会>	

	石和温泉観光協会、(一社) 笛吹市観光物産連盟、御坂町観光協会、八代町観光協会、一宮町観光協会、芦川町観光協会、<u>山梨市観光協会</u>、<u>甲州市観光協会</u> ⇒観光イベント・プロモーション・情報共有・PR <交通関係> (一社) <u>山梨県バス協会</u>、(一社) <u>山梨県タクシー協会</u> ⇒交通・二次交通・アクセス <宿泊関係> <u>石和温泉旅館協同組合</u>、<u>春日居温泉旅館組合</u>、<u>山梨市旅館業組合</u>、<u>塩山温泉旅館組合</u>、<u>勝沼ぶどう郷民宿組合</u> ⇒宿泊の魅力向上・情報共有・PR <ワイン関係> <u>山梨県ワイン酒造組合</u>、<u>山梨県ワイン酒造協同組合</u>、<u>笛吹市ワイン会</u>、<u>山梨市ワイン振興会</u>、<u>勝沼ワイン協会</u>、<u>塩山ワインクラブ</u>、(一社) <u>日本ソムリエ協会(会長 田崎真也)</u> ⇒地域ブランドの開発・情報共有・PR <商工会関係> 笛吹市商工会、山梨市商工会、甲州市商工会 ⇒土産品等の新商品の開発・情報共有・PR <農業関係> <u>フルーツ山梨農業協同組合</u>、<u>笛吹農業協同組合</u>、NPO法人ふえふき旬感ネット ⇒果樹産地の振興・地域ブランドの推進・情報共有・PR <観光関連> <u>(公社) やまなし観光推進機構</u>、<u>芦川まちづくり実行委員会</u>、<u>西沢溪谷歩道管理組合</u>、<u>山梨市森林セラピー推進協議会</u>、<u>Koshu かつめま文化研究所立教大学観光学部(教授 庄司貴行)</u> ⇒観光商品の造成・情報共有・PR ※下線は峡東地域ワインリゾート推進協議会の構成員
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】② ・ 峡東地域（山梨市、笛吹市、甲州市）が誇る一大資源であるワインやフルーツ、美しい農業景観、温泉、文化・自然資源などを活用した観光地域づくりを図るため、2015年に自治体、観光協会、ワイン協会、農業協同組合、温泉旅館組合、交通事業者、商工会等で構成する「峡東地域ワインリゾート推進協議会」を設立 ・ 地域一体となった観光地域づくりに向けて、ワークショップ等を行うなど、合意形成の仕組みを構築 ・ 当協議会の設立当初は、山梨県と（公社）やまなし観光推進機構が事務局として運営してきたが、2023年に（一社）ワインツーリズムが事務局に加わり2025年には（一社）ワインツーリズムが事務局の主たる部分を担う予定
地域住民に対する観光地域づくりに	1 住民参加型のエリア説明会・報告会

関する意識啓発・参画促進の取組	・2008年から実施している「ワインツーリズムやまなし」について、春と秋の開催前にワイナリー及び地域住民らによる住民参加型のエリア説明会を行い、イベントの概要説明や活動の意図、地域住民との情報交換を行い、冬にはイベント含め通年の報告会を各地域内で開催し、地域に共に暮らすものとして課題共有してきた。 ・また、日常的に当法人の理事らが地域の行政、住民、事業者、学生など多様な関係者と連携し活動意図や地域住民への啓発に取り組んでいる。 ・今後は、エリア説明会・報告会を定期的に開催する。 2 出前授業 山梨県内の大学の出前授業などを通じて、日本遺産「葡萄畑が織りなす風景」である峡東地域のワインや葡萄畑、神社仏閣などの魅力を発信 そのことにより、大学でゼミの研究テーマとなった他、(一社)ワインツーリズムが行うワインツーリズムに大学生がボランティアとして参加するなどの効果が上がった。 主に山梨大学、県立産業技術短期大学の学生に向けて、毎年ワインツーリズム実施前に、座学1回、体験1回の授業を実施。特に山梨大学では当授業に参加することで単位が認定される。 ※コロナ以降、座学はオンラインにて実施。 ※上記、大学以外の県内大学からもボランティア参加あり ・2018年 座学 10/25、体験 11/17、18 ※参加人数：28名 ・2019年 座学 10/30、体験 11/9、10、11 ※参加人数：36名 ・2021年 座学オンライン 11/1、体験 11/13、14、20、21、27、28 ※参加人数：26名 ・2022年 座学オンライン 10/20、体験 11/5、6、12、13、19 ※参加人数：32名 ・2023年 座学オンライン 10/11、体験 11/4、5、11、12 ※参加人数：43名 今年は、座学を10月、体験は11/9、10、16、17に予定				
法人のこれまでの活動実績	【活動の概要】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> 1 (一社)ワインツーリズムの活動実績 「ワインツーリズム」とは、地域のワイナリーやブドウ畑を訪れ、その土地の自然、文化、歴史、暮らしに触れ、作り手や地元の人々と交流し、ワインやその土地の料理を味わう旅行 ※ ワインツーリズムは(一社)ワインツーリズムが2009年に商標を取得 ワインツーリズム等のイベント企画・総合プロデュース・旅行実施業務 ①ワインツーリズム ・ワインツーリズムやまなし 2008～2023 ・ワインツーリズムやまがた 2018・2019 ・ワインツーリズムいわて 2018・2019 ・ワインツーリズムさんりく 2022.10月 </td></tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	1 (一社)ワインツーリズムの活動実績 「ワインツーリズム」とは、地域のワイナリーやブドウ畑を訪れ、その土地の自然、文化、歴史、暮らしに触れ、作り手や地元の人々と交流し、ワインやその土地の料理を味わう旅行 ※ ワインツーリズムは(一社)ワインツーリズムが2009年に商標を取得 ワインツーリズム等のイベント企画・総合プロデュース・旅行実施業務 ①ワインツーリズム ・ワインツーリズムやまなし 2008～2023 ・ワインツーリズムやまがた 2018・2019 ・ワインツーリズムいわて 2018・2019 ・ワインツーリズムさんりく 2022.10月
事業	実施概要				
情報発信・プロモーション	1 (一社)ワインツーリズムの活動実績 「ワインツーリズム」とは、地域のワイナリーやブドウ畑を訪れ、その土地の自然、文化、歴史、暮らしに触れ、作り手や地元の人々と交流し、ワインやその土地の料理を味わう旅行 ※ ワインツーリズムは(一社)ワインツーリズムが2009年に商標を取得 ワインツーリズム等のイベント企画・総合プロデュース・旅行実施業務 ①ワインツーリズム ・ワインツーリズムやまなし 2008～2023 ・ワインツーリズムやまがた 2018・2019 ・ワインツーリズムいわて 2018・2019 ・ワインツーリズムさんりく 2022.10月				

		2023. 8 月 2024. 6 月 ・焼酎ツーリズムかごしま 2023. 2 月 2024. 2 月 ※山梨県での開催を皮切りに全国で実施 ②峡東地域ワインリゾート情報発信等業務 2022. 3 月 ③甲州市ふるさと納税 返礼品出品事業者（甲州市ふるさと納税事務局） 2021～現在 ④電子スタンプを利用した周遊観光促進と観光データ収集 2022. 11 月 ※最大5,000円が当たる！ 山梨市・笛吹市・甲州市その場で使える「電子商品券プレゼント観光キャンペーン」 ⑤ルバイヤート丸藤葡萄酒工業 130 周年記念 「ZOOM de Rubaiyat」 2021. 3. 27 ⑥日本一のワイン産地の歴史と文化を食で楽しむ新たな体験「Wine & Food Festival」 2023. 10 月全 5 回 ワインと食と地域の文化とを融合させた地域活性化のための新たなイベント。ワイナリー、シェフ、地域の歴史的な施設を組み合わせ、一夜限りのスペシャルなディナーを実施。恵林寺、大善寺、ワイナリー圃場、根津記念館と過去一度もこのような活用がなかった地域文化施設を活用。 ⑦モルドバ共和国ワイン産業関係者来訪に伴う笛吹市との意見交換会 2024. 3 月（笛吹市観光物産連盟） ・ワイン産地笛吹市の紹介 ・ワイナリーツアー実施 2 CFO(鶴田真也、(株)鶴興社)の活動実績 (今後はDMOの事業として実施する予定) 各種イベント、事業実施・受付、パンフレット・マップ等制作業務 ①パンフレット・マップ作成 ・山梨県商工会パンフレット製作 2016. 3 月（山梨県商工会連合会） ・こうしゅうグルメマップ 2017. 11 月（甲州市商工会） ・石和料飲店マップ2018. 3 月（石和温泉料理飲食店組合） ②ワインフェス委託業務 ・山梨ワインフェスin名古屋「Sante! Yamanashi Winery」 2017. 11 月（山梨ワインフェスin名古屋実行委員会） ・万カ公園七タワインフェス 2019 2019. 7 月（山梨市ワイン振興会） ・塩ノ山ワインフェス 2017～2019・2024/4 月（塩山ワイ
--	--	---

		ンクラブ) ・かつぬまぶどう祭り 2023 2023. 10 月 ワイン村企画運営 (ワイナリー出店、chefs tent、 有料指定席) ③日本遺産関連イベント ・日本遺産 山梨県峡東地域「葡萄畑が織りなす風景」 周遊ガイドマップ制作 2021. 3 月 ・日本遺産 山梨県峡東地域「葡萄畑が織りなす風景」 外国語版 (英語) 周遊ガイドマップ制作 2021. 3. 26 (峡東地域ワインリゾート協議会) ・日本遺産シンポジウム「日本ワイン 140 年史～国産 ブドウで醸造する和文化の結晶～」2021. 11. 27 ・『地域文化財総合活用推進事業』日本ワイン140年史 リレー講座2022. 7月～2023. 3月 (ワイン文化日本遺産 協議会) ④甲州市勝沼ぶどうの丘イベント ・ワインガーデン 2017・2018/8月 ・夏祭り 2016～2018/8月 ・ワインクラブ収穫祭 2015～2019 ・ワインクラブ出庫祭 2015～2019 ・ワインクラブ新酒祭り 2016～2019 ⑤山梨県ワイン酒造組合イベント委託業務 ・山梨ワイナリーズフェア 2017. 12 月/2018. 11 月 ・山梨ヌーボー解禁セレモニー2020 2020. 11 月 ・山梨ワイナリーズフェアチラシ・ワインリスト制作 2019. 11 月/2021. 11 月/2022. 1 月 ⑥桜に関するイベント ・こうしゅう桜フェスタ 2023. 3月 (甲州市観光商工 振興協議会) ・甚六桜イベント2018～2019/4月・2023/4月 (甲州市 観光協会) ⑦その他のイベント・事業 ・ぶどう郷勝沼ワイン会 2020. 11 月 (勝沼ワイン協会) ・第 16 回 国内観光活性化フォーラム in やまなし 2022. 5. 31 (全国旅行業協会) ・ヌーボーで乾杯! カウントダウン2017～2019/11. 3 (石和温泉観光協会) ・笛吹市桃源郷の日 ワイン販売 2017～2019/4 月 (笛吹市観光物産連盟) ・ルミエールワイン祭り 2016～2019/10 月 シャト ルバス受付業務 ・こうふはっこうマルシェ ワイン販売 2019・2023. 2024/3 月 ・目黒区商工まつり 笛吹市産ワイン販売 2023. 11 月 (笛吹市観光物産連盟) ・甲州市稲作体験事業 2023. 5～11月 (甲州市)
--	--	---

		2024.5～11月（甲州市） ・ 笛吹みんなの広場 ふえふきマルシェ 運営 2021.11月～（ふえふきマルシェ実行委員会） ・ 石和温泉街及び笛吹市のリブランディング・活性化事業 2021.12月～（（株）まちづくり石和・石和温泉旅館協同組合・石和温泉観光協会・笛吹市観光物産連盟）
	3	専門人材の責任者（須藤治憲、（株）タビゼン）の活動実績（今後はDMOの事業として実施する予定） ワイン等のツアー企画・実施業務など ① 峡東ワインツアー ・ 機山洋酒工業&三養醸造 2020.11月 ・ 勝沼醸造&ルミエールワイナリー 2020.11月 ・ シャトレーゼベルフォーレ勝沼ワイナリー&ルミエールワイナリー 2022.5月 ・ 機山洋酒工業&三養醸造 2022.7月 ・ 機山洋酒工業&三養醸造 2023.7月 ・ 「勝沼ワイナリーマーケット・新田商店」新田正明さんがナビゲートするスペシャルバスツアー 2023.12月 ② 笛吹のワインツアー ・ メトロミニッツ編集部と巡る笛吹ワイナリーツアー 2022.12月 ・ 日本ワインのスペシャリストがご案内。歴史を知り、笛吹のワイナリーと名湯を巡るツアー 2022.12月 ③ その他のツアー ・ ペイザナ中原ワイナリー ワイナリーツアー 2020.11月 ・ 日本農業遺産果実の里スタディーツアー 2021.10月 ・ 清春芸術村アート&ワインスペシャルツアー 2021.11月 ・ 山梨県峡東地域・日本農業遺産果実の里 ころ柿づくり体験&ころ柿の里フットパスツアー 2021.11月 ・ 在日台湾人向けワインツアー 2021.11月 ・ フォトグラファー山本光男さんが地元山梨ワイナリーを案内するオトナのワインツアー！第6弾』2022.7月 ④ その他のイベント ・ マルサン葡萄酒・ワイン用葡萄の収穫体験 2021.9月 ・ ワイン用葡萄の収穫体験（マルサン葡萄酒）2022.9月 ・ コタツを囲んでワインを片手に星空観賞会（カンティエナ・ヒロ） 2022.1月 ・ 山梨市のワイナリー&酒蔵とともに焚火を囲んで楽しむひと時（東農洋酒） 2022.1月 ・ 梅之木遺跡で縄文風土器をつくろう 2022.8月 ・ 若尾果樹園・マルサン葡萄酒の歴史と未来 2019.9月 ・ マルサン葡萄酒・ワイン用葡萄の収穫体験と勝沼フットパス 2020.9月

	受入環境の整備	1 (一社) ワインツーリズムの活動実績 ① 笛吹市 e 街ギフト事業 (旅先納税事業) 2021～現在 ※電子決済システム (電子スタンプ使用) を活用したふるさと納税 ② やまなし観光 MaaS 実証事業 2021. 11 月 峡東地域の観光地やワイナリーをつなぐ専用バスや AI 搭載タクシーによる交通サービスの提供 ③ 甲州市勝沼町内の観光二次交通整備 2024. 5 月 ワインツーリズム勝沼を実施。その中で通常の路線バスに加えて、タクシープールの設置 (4箇所) + AI 搭載タクシー (1台) を配置。参加者は事前予約決済にて限定数参加。諸々改善点はあったが今後の当エリア二次交通の取り組みが見えた。特に AI 搭載タクシーの利用が効果的であった。今後、勝沼ワイン協会と協議し、観光シーズンの毎週末に通常運営を計画 2 CFO (鶴田真也、(株) 鶴興社) の活動実績 (今後は DMO の事業として実施する予定) ① JR 塩山駅周辺空き店舗調査 (甲州市) 2018. 4 月 ② 平成 30 年度日本遺産「葡萄畑が織りなす風景」日本遺産周遊用ベンチ制作・設置業務 2018. 10 月 (峡東地域ワインリゾート協議会) ③ 石和温泉駅ナイトワインバー 2019. 8 月 (笛吹市観光物産連盟) ④ 峡東ワインリゾート 2 次交通現状調査等業務 2020. 2 月 ⑤ 令和元年度甲州市内公園ベンチ補修事業 2020. 4 月 ⑥ 甲州市かつぬまぶどう祭り 周遊バス及び仮設バス停制作設置業務 2022・2023/10 月
	観光資源の磨き上げ	1 (一社) ワインツーリズムの活動実績 峡東ワインリゾート構想 基本構想策定 2016. 3 月 (一社) ワインツーリズムが委託業務として、山梨県の大きな資源であるワインや農業景観、ワインを生産するワイナリーが集積する峡東地域において官民が協働し、ワインを核に多くの来訪者がゆっくりと地域の魅力を体感、堪能できる周遊・滞在型の観光地を目指す構想を策定 2 CFO (鶴田真也、(株) 鶴興社) の活動実績 (今後は DMO の事業として実施する予定) ① 笛吹市地域資源活用事業計画 委託 2018 ② ワイナリー巡りを楽しむ方のためのオリジナルメニュー

	一普及啓発事業 委託費 2019. 12 月（甲州市） ③笛吹市地域ブランディング事業 2017～2019 ④石和温泉街活性化事業 ・石和源泉足湯ひろばリノベーション事業 2021～ ・さくら温泉通り沿い街灯運営事業 2022～ ・石和温泉ビアガーデン 2022/2023/2024. 7～8 月 ・石和ワインスタンド 2022. 10～11 月 ・石和温泉クリスマスマーケット 2022/2023. 12 月 ・石和温泉ナイトマーケット 2023/2024. 1～2 月 ・富士山石和温泉ハイボールスタンド 2024. 7 月～8 月 3 専門人材の責任者（須藤治憲、（株）タビゼン）の活動実績 （今後はDMOの事業として実施する予定） ①峡東ワインリゾートモニターツアー企画手配 2019. 2 月 ②甲州市原産地呼称制度ツアー 旅行企画実施 2019. 3 月 ③ワイン碗の完成を祝おう！ 旅行企画実施 2019. 4 月 ④日本遺産 葡萄畑の織りなす風景モニターツアー ・甲州市版 旅行企画実施 2019. 11 月 ・笛吹市版 旅行企画実施 2019. 11 月 ・山梨市版 旅行企画実施 2020. 1 月				
	【定量的な評価】（抜粋） <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> ① ワインツーリズムの開催 企画実施 2008～2024 「ワインツーリズムやまなし」 2008～2023 ・開催数：28回 ・延べ参加者数：26, 335名 2008 秋1, 284名 2009 秋1, 581名（前年比：123%） 2010 秋1, 740名（前年比：110%） 2011 秋2, 123名（前年比：122%） 2012 秋1, 348名（前年比：63%）※この年から募集定員設定 2013 秋1, 438名（前年比：106%） 2014 春194名・秋1, 919名（前年比：133%） 2015 春237名（前年比：122%）・秋2, 227名（前年比：116%） 2016 春368名（前年比：155%）・秋2, 014名（前年比：90%） 2017 春319名（前年比：86%）・秋1, 674名（前年比：83%） 2018 春285名（前年比：89%）・初夏272名 秋1, 715名（前年比：102%） 2019 春264名（前年比：92%）・初夏189名（前年比：69%） 秋1, 597名（前年比：93%） 2021 春150名（前年比：56%）・秋911名（前年比：57%） ※コロナ以降、エリア分散・限定数募集 2022 春150名（前年比：100%）・秋959名（前年比：105%） 2023 春172名（前年比：114%）・秋885名（前年比：92%） </td></tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	① ワインツーリズムの開催 企画実施 2008～2024 「ワインツーリズムやまなし」 2008～2023 ・開催数：28回 ・延べ参加者数：26, 335名 2008 秋1, 284名 2009 秋1, 581名（前年比：123%） 2010 秋1, 740名（前年比：110%） 2011 秋2, 123名（前年比：122%） 2012 秋1, 348名（前年比：63%）※この年から募集定員設定 2013 秋1, 438名（前年比：106%） 2014 春194名・秋1, 919名（前年比：133%） 2015 春237名（前年比：122%）・秋2, 227名（前年比：116%） 2016 春368名（前年比：155%）・秋2, 014名（前年比：90%） 2017 春319名（前年比：86%）・秋1, 674名（前年比：83%） 2018 春285名（前年比：89%）・初夏272名 秋1, 715名（前年比：102%） 2019 春264名（前年比：92%）・初夏189名（前年比：69%） 秋1, 597名（前年比：93%） 2021 春150名（前年比：56%）・秋911名（前年比：57%） ※コロナ以降、エリア分散・限定数募集 2022 春150名（前年比：100%）・秋959名（前年比：105%） 2023 春172名（前年比：114%）・秋885名（前年比：92%）
事業	実施概要				
情報発信・プロモーション	① ワインツーリズムの開催 企画実施 2008～2024 「ワインツーリズムやまなし」 2008～2023 ・開催数：28回 ・延べ参加者数：26, 335名 2008 秋1, 284名 2009 秋1, 581名（前年比：123%） 2010 秋1, 740名（前年比：110%） 2011 秋2, 123名（前年比：122%） 2012 秋1, 348名（前年比：63%）※この年から募集定員設定 2013 秋1, 438名（前年比：106%） 2014 春194名・秋1, 919名（前年比：133%） 2015 春237名（前年比：122%）・秋2, 227名（前年比：116%） 2016 春368名（前年比：155%）・秋2, 014名（前年比：90%） 2017 春319名（前年比：86%）・秋1, 674名（前年比：83%） 2018 春285名（前年比：89%）・初夏272名 秋1, 715名（前年比：102%） 2019 春264名（前年比：92%）・初夏189名（前年比：69%） 秋1, 597名（前年比：93%） 2021 春150名（前年比：56%）・秋911名（前年比：57%） ※コロナ以降、エリア分散・限定数募集 2022 春150名（前年比：100%）・秋959名（前年比：105%） 2023 春172名（前年比：114%）・秋885名（前年比：92%）				

		2024 春181名（前年比：105%）・初夏139名 「ワインツーリズムやまがた」 2018・2019 ・開催数：2回 ・延べ参加者数：721名 ・2018 308名 ・2019 413名（前年比：134%） 「ワインツーリズムいわて」 2018・2019 ・開催数：2回 ・延べ参加者数：331名 ・2018 169名 ・2019 162名（前年比：96%） 「ワインツーリズムさんりく」 2022. 2023. 2024 ・開催数：3回 ・延べ参加者数：321名 ・2022 129名 ・2023 86名（前年比：67%） ・2024 106名（前年比：123%） 「焼酎ツーリズムかごしま」 2023. 2024 ・開催数：2回 ・延べ参加者数：224名 ・2023 93名 ・2024 131名（前年比：141%） ②電子スタンプを利用した周遊観光促進と観光データ収集 2022. 11月※最大5,000円が当たる！山梨市・笛吹市・甲州市その場で使える「電子商品券プレゼント観光キャンペーン」 ・参加者数：3,064名（アンケート回答者数）
	受入環境の整備	①笛吹市e街ギフト事業（旅先納税事業）2021～ ※電子決済システム（電子スタンプ使用）を活用したふるさと納税 ・利用者数：2021年 24名 2022年 86名 2023年 64名 2024年 16名（2024年5月現在） ②ベンチ作成設置事業 ・平成30年度日本遺産「葡萄畑が織りなす風景」日本遺産周遊用ベンチ制作・設置業務 2018.10（峡東地域ワインリゾート協議会） ・峡東3市エリア内の効果的な箇所にベンチを76基設置（背景：2008年からワインツーリズムを実施してきた結果、町中を歩く訪問者が多くなった。休憩箇所が少なかった）

	観光資源の磨き上げ ① 日本遺産 葡萄畑の織りなす風景モニターツアー ・ 甲州市版 (2019. 11 月) 参加者数 : 8 名 ・ 笛吹市版 (2019. 11 月) 参加者数 : 9 名 ・ 山梨市版 (2020. 1 月) 参加者数 : 7 名 ②日本遺産シンポジウム「日本ワイン 140 年史～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～」2021. 11. 27 ・ 参加者数 : 162 名 ③「地域文化財総合活用推進事業」日本ワイン140年史リレー講座2022. 7月～2023. 3月 (ワイン文化日本遺産協議会) 参加者数 : 約300名 ※日本遺産の構成文化財を改めて学び、今後のツーリズムや観光事業に生かす。 ④「Wine & Food Festival YAMANASHI」2023. 10 月 (全 5 回) ・ 日本一のワイン産地の歴史と文化を食で楽しむ新たな体験、ワインと食と地域の文化とを融合させた地域活性化のための新たなイベント。 ・ ワイナリー、シェフ、地域の歴史的な施設を組み合わせ、一夜限りのスペシャルなディナーを実施 ・ 恵林寺、大善寺、ワイナリー圃場、根津記念館と過去一度もこのような活用がなかった地域文化施設を活用 ・ 1 名 44,000 円のランチ又はディナー。各回限定 20 名 (参加者数) <table><tr><td>恵林寺</td><td>17 名 (ディナー)</td></tr><tr><td>ルミエール</td><td>14 名 (ランチ)</td></tr><tr><td>大善寺</td><td>16 名 (ディナー)</td></tr><tr><td>根津記念館</td><td>16 名 (ディナー)</td></tr><tr><td>勝沼醸造</td><td>15 名 (ランチ)</td></tr></table>	恵林寺	17 名 (ディナー)	ルミエール	14 名 (ランチ)	大善寺	16 名 (ディナー)	根津記念館	16 名 (ディナー)	勝沼醸造	15 名 (ランチ)
恵林寺	17 名 (ディナー)										
ルミエール	14 名 (ランチ)										
大善寺	16 名 (ディナー)										
根津記念館	16 名 (ディナー)										
勝沼醸造	15 名 (ランチ)										
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること (別添可)。	【実施体制の概要】 峡東地域の観光地域づくりの推進を図るため、一般社団法人ワインツーリズムがDMO機能を担う。 2025 年度には事務局の主たる部分を (一社) ワインツーリズムが担い、「峡東地域ワインリゾート推進協議会」を運営し、構成団体との合意形成の下、連携した事業推進を図る。 協議会の構成団体には、峡東 3 市、ワイン協会、宿泊業者、飲食業者、交通事業者、農業協同組合など多様な関係者が参画しており、官民が密接に連携した事業展開を行う。 また、協議会では、総会・委員会・幹事会を開催するが、構成団体間の連携強化を図るとともに、地域課題の検討や情報共有のため、担当者での協議やワーキンググループを行う。										

【実施体制図】

峡東地域ワインリゾート推進協議会

（一社）ワインツーリズムを中心に運営 ※DMO申請予定

- ・企画に関する事
- ・協議会の運営に関する事
- ・構成団体の連携促進に関する事
- ・認定地域との連携に関する事

活用に関する事

【観光協会、ワイナリー、宿泊事業者】

- ・地域資源の磨き上げ
- ・コンテンツ造成
- ・受入環境の整備

【ワイナリー、農業協同組合】

- ・ワイン、農産物の高付加価値化

【2次交通事業者】

- ・交通サービスの充実

【行政】

- ・情報発信に関する事
- ・地域の魅力を伝えるガイドの育成

保存に関する事

【ワイナリー、農業協同組合、行政】

- ・自然景観の保存
- ・葡萄栽培技術の継承
- ・ワイン文化の継承
- ・担い手の確保

【行政】

- ・地域住民への普及啓発
- ・小中学校における学習
- ・高等学校における授業
- ・短期大学等における講義、実習

<構成団体>

山梨市、笛吹市、甲州市、山梨市観光協会、笛吹市観光物産連盟、石和温泉観光協会、甲州市観光協会、山梨市ワイン振興会、笛吹市ワイン会、勝沼ワイン協会、塩山ワインクラブ、フルーツ山梨農業協同組合、笛吹農業協同組合、山梨市旅館業組合、石和温泉旅館協同組合、塩山温泉旅館組合、勝沼ぶどう郷民宿組合、（一社）山梨県バス協会、（一社）山梨県タクシー協会、（一社）ワインツーリズム、（公社）やまなし観光推進機構(地域連携DMO)、山梨県

総会

- ・協議会の構成団体の代表等による会議で、協議会の意思決定を行うもの。
事業計画・予算に関する事、及び、規約改廃等を協議する。

委員会

- ・協議会の構成団体で、総会案件の内容を協議する会議。
観光客の受入体制や、情報発信に関する事項を協議する。

幹事会

- ・協議会の構成団体のうち、事務局を構成する3者と市の担当課で構成する会議。
支援事業の審査等、各種事業の協議、及び、会員の入退会等について協議する。

ワークショップ／ワーキンググループ

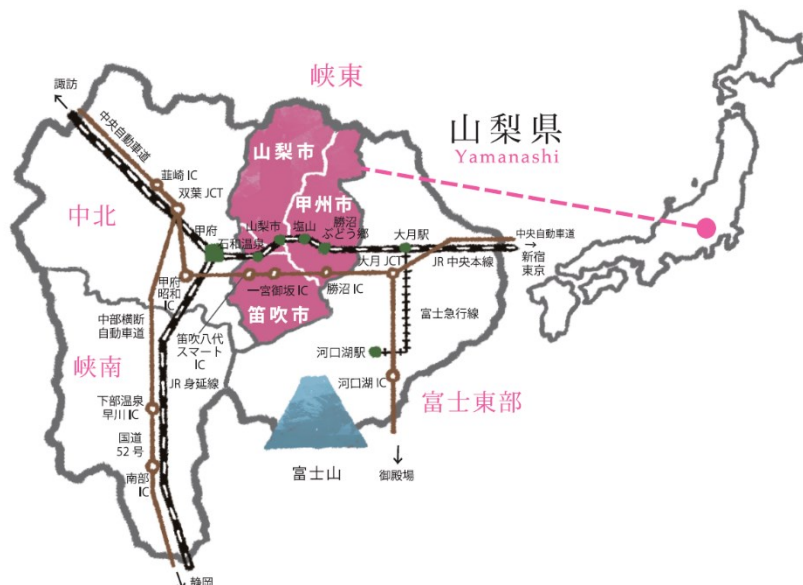
- ・R5年度に初めて開催。協議会の構成団体の実務担当者等を広く招集し、協議会に関わる様々な情報、及び、協議会の今後の方針等について協議を行うもの。
(R6年度以降は「ワーキンググループ」として、継続。)

担当者協議

- ・ワークショップとは異なり、事務局が個別の事業に関わる担当者等を招集し、打合せを行うもの。

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

山梨県は大きく「中北地域」、「峡東地域」、「峡南地域」、「富士東部地域」の4つに大別され、「峡東地域」は甲府盆地東部に位置する。

山梨県は日本のワイン発祥の地であり、県内の約90あるワイナリーのうち、約70%が峡東地域に集積しており、日本一のワイン産地である。また、峡東地域は、日本のブドウ栽培発祥の地とされており、特に甲州ブドウは、平安時代に栽培されていたともいわれ、モモ、スモモなども古くから栽培され、果樹王国やまなしを支える県下最大の果樹産地である。

峡東地域が持つ「ワイン」、「フルーツ」、「温泉」、「自然環境」、「歴史文化」などの観光資源を十分に活用し、地域全体が一体となり連携し、国内外の観光客を受け入れる体制を整えるためには、峡東3市を区域として設定するのが適切である。

なお、2012年より区域である峡東地域を一つのエリアとして、二次交通となるバス、タクシーを整備。地域のワイナリーと宿泊、飲食、そして住民の協力のもと地域連携の取り組みであるイベント「ワインツーリズム」を企画、観光客の参加費のみで現在まで定期的の実施

これまでの15年間の「ワインツーリズム」等の実績を基に、(一社)ワインツーリズムが地域連携DMOとして、「峡東地域ワインリゾート推進協議会」の構成団体と連携する中で、峡東地域の更なる活性化を目指す。

【観光客の実態等】

山梨県観光入込客数統計調査によれば、峡東3市への観光客入込数はコロナ禍以前の2018年度で617万人であったところ、2023年度は637万人と回復の兆しが出てきている。

しかし、峡東地域への2023年度の外国人の観光客数は1万人に満たないものと推測され、2018年度の96万人と比較し、コロナ禍以前の水準とは大きなギャップがある。

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
観光入込客数	617 万人	542 万人	308 万人	344 万人	507 万人	637 万人
うち外国人(推計)	96 万人	60 万人	6 万人	0.2 万人	0.7 万人	0.7 万人

※ 旅行消費額については、山梨県観光入込客数統計調査によるアンケート方式での把握に加え、DMOとなった(一社)ワインツーリズムが実施する笛吹市e街ギフト事業(旅先納税事業)等によりデータを収集し、地域の観光資源の活用役に役立てていく考え。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

1 観光施設

笛吹川フルーツ公園/万力公園/街の駅やまなし/さくら温泉通り/金川の森/山梨県立博物館/宮光園/旧田中銀行博物館/釈迦堂遺跡博物館/ぶどうの国文化館/武田信玄公宝物館

2 商業施設

道の駅みとみ/道の駅花かげの郷まきおか（彩甲斐公園）/FUJIYAMA ツインテラス/甲州市勝沼ぶどうの丘/JA フルーツ山梨フルーツ直売所（八幡店、勝沼店）/JA ふえふき（富士見農産物直売所、一宮フルーツ直売所/御坂直売所）

3 自然

ぶどう狩り/桃狩り/すもも狩り/いちご狩り/琴川ダム/広瀬ダム/甲州市オルビスの森/勝沼堰堤・祇園の滝/牛奥みはらしの丘/西沢溪谷/乙女高原

4 文化

ワイン/牧丘郷土文化館/横溝正史館/根津記念館/石和温泉駅前公園あしゆ/甲斐国一宮浅間神社/大善寺/恵林寺/清白寺/甘草屋敷

5 スポーツ

山梨フルーツライド/巨峰の丘マラソン大会

6 イベント

ワインツーリズム/川中島合戦戦国絵巻/笛吹川石和鵜飼/コルク感謝祭/かつめまぶどうまつり/さくら温泉通りイルミネーション/塩ノ山ワインフェス

※ 既存施設等が横の連携を行うことで新たな価値を生み出す事業を計画していくほか、既存のイベントに既存施設を巻き込んだ新たなアイデアを織り込んで開催する等により、地域の観光資源がより効果的に活用されるよう、企画・事業実施していく。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

- ・山梨市旅館業組合 15 施設
- ・石和温泉旅館協同組合 33 施設
- ・春日居温泉旅館組合 6 施設
- ・塩山温泉旅館組合 7 施設
- ・勝沼ぶどう郷民宿組合 8 施設

【利便性：区域までの交通、域内交通】

《区域までの交通》

＜自家用車/レンタカー＞

- ・勝沼 IC・一宮御坂 IC・笛吹八代スマート IC（中央自動車道）

○東京方面

- ・高井戸 IC（中央自動車道）→勝沼 IC 等（中央自動車道） およそ 1 時間

○富士山方面

- ・富士吉田 IC(中央自動車道)→大月 JCT(中央自動車道)→勝沼 IC 等(中央自動車道) およそ 40 分
- ・富士吉田市→国道 137 号経由→峡東地域 およそ 60 分

- ・富士吉田市→河口湖→国道 719 号経由(若彦トンネル)→国道 36 号経由→峡東地域およそ 80 分

<公共交通機関>

- ・石和温泉駅、山梨市駅、塩山駅（JR 中央線特急）
- ・春日居町駅、東山梨駅、勝沼ぶどう郷駅、甲斐大和駅（JR 中央線）

○東京方面

- ・東京駅（JR 中央線）→新宿駅（JR 中央線）→塩山駅等（JR 中央線）およそ 1 時間 50 分

○富士山方面

- ・富士山駅（富士急行線）→大月駅（JR 中央線）→塩山駅等（JR 中央線）およそ 1 時間 30 分

《域内交通》

- ・山梨交通バス（笛吹市→甲府市等）
- ・栄和交通バス（笛吹市→山梨市等）
- ・富士急バス（石和温泉駅→富士山駅等）
- ・山梨市市民バス（山梨市市内）
- ・笛吹市市営バス（笛吹市市内）
- ・甲州市市民バス（甲州市市内）

【外国人観光客への対応】

峡東地域ワインリゾート推進協議会の事業において、地域の観光資源に対し英訳の看板を設置した（2019 年度：11 箇所）ほか、多言語対応の地域の案内マップの作成、地域通訳案内士向けのセミナー開催など、外国人観光客が地域を観光するための受け入れ体制を整備してきた。

近年増加傾向にある富士山エリアの外国人観光客を誘客していくためにも、今後もこれらの事業を続け、ワイン文化の体験等による観光客の満足度向上に努めていく。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	山梨県観光入込客統計調査及び自主事業を活用して計測
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	山梨県観光入込客統計調査及び自主事業を活用して計測
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	山梨県観光入込客統計調査及び自主事業を活用して計測
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	山梨県観光入込客統計調査及び自主事業を活用して計測
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	GoogleAnalytics を活用して実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	山梨県観光入込客統計調査及び自主事業を活用して計測

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

峡東地域（山梨市、笛吹市、甲州市）において、人口減少と少子高齢化が進む中、それに伴う交流人口の伸び悩みとともに、観光産業や果樹農業などの労働力不足が懸念されている。

また、サービス業、農業、交通など人口増加を想定して構築されてきた既存の社会システムには、あらゆる分野で歪みが出てきており、いずれかの産業に特化して資金を投じて、そもそもの需要がなければ根本的な解決はできない状況となっている。

その打開策として、交流人口によって各産業に消費の巡らせる仕組み「ワインツーリズム」を考案し、15年間開催して新たな消費行動を創出してきた。

今後は、地域事業者が連携した地域を巡るためのインフラ整備などが必要となる。DMOが中心となり地域課題の改善に取り組む。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) ・ 恵まれた自然条件 ・ 日本一のワイナリー集積地 ・ 果樹王国やまなしを支える県下最大の果樹産地 ・ 観光果実園が豊富 ・ 温泉 ・ 富士山の眺望 ・ 日本遺産「葡萄畑が織りなす風景」 ・ 日本遺産「日本ワイン 140 年史」 ・ 世界農業遺産「峡東地域の扇状地に適した果樹農業システム」 ・ フルーツを中心とした特色ある農産物直売所や道の駅が多数存在	弱み (Weaknesses) ・ 高齢化や人口減少による観光産業や農業の担い手の不足 ・ 脆弱な二次交通 ・ 海外からの旅行者に日本一のワイナリー集積地という情報が届いていない ・ 個人サービス業が多く外国語対応が難しい ・ インバウンドへの対応不足 ・ 富士東部地域と連携したツアーが不足
外部環境	機会 (Opportunity) ・ 最大の人口を誇る首都圏からの近さ ・ 新型コロナ5類移行による観光需要の回復 ・ 外国人観光客の増えている富士山エリアと隣接 ・ SDGs への意識の高まり	脅威 (Threat) ・ 他ワイン産地の成長と先行地域ゆへの飽き ・ 人口減少によるサービス業の担い手不足 ・ 海外の旅行者とのコミュニケーション障害 ・ 地球温暖化によるワイン産業や果樹栽培への影響

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

(3) ターゲット

○第 1 ターゲット層

- ・首都圏在住者、40～50 代、リピーター（夫婦 2 人での旅行者）
- ・休暇を利用して、ワインやフルーツ、食、地域の文化などに関心が高い者

○選定の理由

- ・ 峡東地域の葡萄畑などの風景やワイン、フルーツ、地域の文化などの豊富な魅力ある観光資源や首都圏に近い立地条件など、その特性を十分に生かすこと。
- ・ 2022 年に峡東地域で実施した電子スタンプを利用した周遊観光促進事業のアンケート結果（有効回答数：2,960 件）では、峡東地域への来訪者は 40～50 代が約半数で、夫婦での旅行が約 3 割であった。この結果を踏まえターゲットを決定した。

○取組方針

- ・ 首都圏から近い立地条件や日本一のワイナリー集積地、果樹王国やまなしを支える県下最大の果樹産地などの利点をフル活用したアプローチで誘客を促進する。
- ・ 日本遺産（葡萄畑の織りなす風景）では、峡東地域の四季折々の風景やワイナリー、フルーツ、文化財などの魅力を楽しめる 8 つのルートを推奨しており、国内外へ情報発信し、リピーター客を確保していく。
- ・ 当協議会の温泉旅館組合やワイナリー等が連携し、峡東地域に宿泊することの動機付けとなるよう、滞在型観光の推進に取り組む。
- ・ 2008 年から 15 年間取り組んできている「ワインツーリズムやまなし」において、リピーター客層を中心に満足度調査や意見・要望等を分析し、周遊を促進するため二次交通などの要素の改善に努め、来訪者がストレスなく楽しめるようコンテンツを磨き上げる。

○第 2 ターゲット層

- ・ 東アジア、東南アジア、欧州から富士東部地域への観光客、20 代～40 代
- ・ ワイン文化やブドウ・モモなどに関心が高い者

○選定の理由

- ・ 新型コロナウイルス感染症の 5 類移行後、峡東地域に隣接する富士東部地域においては、富士山を目的とした外国人観光客が多く来訪しており、潜在的な観光需要がある。
- ・ 2019～2020 年に（一社）ワインツーリズムが実施した日本遺産「葡萄畑が織りなす風景」をめぐる外国人向けモニターツアーにおいて、インバウンド観光客の動向について調査を行い、その結果では来訪者は中国が約 25%、欧州が約 20%、インドネシアが約 16%であり、年齢層は 20～30 代が約 8 割で、ワイン文化や葡萄畑の風景などに関心が高く、ほとんどの方が満足し、また訪れたいとの回答であった。
この結果を踏まえて東南アジア、20～40 代をターゲットとした。

○取組方針

- ・ 日本一のワイナリーの集積地である峡東地域において、近年、甲州の日本ワインが国内外のコンクールで受賞するなどワイン品質が向上し、世界から注目を浴びていることから、海外からの来訪者に対し、日本一のワイン産地であること、東京及び富士山地域に隣接するエリアであることなどの情報発信を強化し、ターゲット層に訴求し誘客を促進する。
- ・ ワインやフルーツ狩りに加え、食、宿泊などをコーディネートした魅力あるツアー造成についても検討し、富士東部地域からの周遊観光を促進する。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	「葡萄畑とワイン文化を体感するワインリゾート」 ～地場産業を活用し持続可能な地域に～ ・地場産業であるワインを核として地域を周遊して楽しみ滞在するモデルの構築に取り組む。 ・地場産業である葡萄とワインの歴史と文化を活用し、観光産業によって新たな消費行動を興し、地域経済に好循環と地域の課題改善のきっかけをもたらす「ワインツーリズムモデル」を創出する。
②コンセプトの考え方	① ワインツーリズム ・首都圏から近く、富士東部地域に隣接し、約 65 のワイナリーが点在する日本一のワイナリー集積地である峡東地域の強みを活かし、地域全体をひとつのサービスと見立てる「ワインツーリズム」によって情報を発信し、足を運んでもらい地域全体を楽しみ滞在してもらう。 ②地域を活用したコンテンツの提供 ・日本遺産「葡萄畑が織りなす風景」として、先人たちの知恵と工夫による葡萄畑の形成と拡大、葡萄畑から始まったワイン文化、神社仏閣等のストーリーを磨き上げ、果樹王国やまなしの自然豊かな風景やワイン発祥の地のワイナリーをめぐり、飲食店を利用し、温泉に宿泊し史跡を訪れ、地域の歴史・風土を体感してもらうコンテンツを提供する。 ③地域課題の改善への取り組み ・人の流れを活用し、二次交通や空き家、DX 化など地域に共通する課題の改善に取り組む ④滞在型観光ツアーの造成と情報発信 ・果樹王国やまなしの自然豊かな風景やワイン発祥の地のワイナリーを巡り、地元食材を提供する飲食店を利用し、温泉旅館に宿泊し、史跡を訪れるなど、地域の文化・歴史・風土を体感してもらうコンテンツを提供するため、滞在型観光ツアーの造成と情報発信を行い、峡東地域への交流人口を増加させ、地域の活性化・稼ぐ力を創出する。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	・「峡東地域ワインリゾート推進協議会」は、22 団体で構成し、総会、委員会、幹事会、ワークショップ、担当者での協議等を開催し、観光地域づくりの課題や戦略の検討などを行っており、今後は回数を増やし充実した検討を行うこととしている。 <2023 年実績> 総会 2 回、委員会 1 回、幹事会 2 回、ワークショップ 2 回、担当者協議 38 回 ・総 会：協議会の構成団体の代表等による会議で、協議会の意思決定を行うもの。事業計画・予算に関すること、及び、規約改廃等を協議する。 - 委員会：協議会の構成団体で、総会案件の内容を協議する会議。観光客の受入体制や、情報発信に関する事項を協議する。 - 幹事会：協議会の構成団体のうち、事務局を構成する 3 者と市の担当課で構成する会議。支援事業の審査等、各種事業の協議、及び、会員の入退会等について協議する。 - ワークショップ：R5 年度に初めて開催。協議会の構成団体の実務担当者等を広く招集し、協議会に関わる様々な情報、及び、協議会の今後の方針等について協議を行うもの。（R6 年度以降は「ワーキンググループ」として、継続。） - 担当者協議：ワークショップとは異なり、事務局が個別の事業に関わる担当者等を招集し、打合せを行うもの。 ・事業者間では既存の「峡東地域ワインリゾート推進協議会」、住民向けにはこれまで実施してきた地域ごとの「エリア会議」で報告・説明
	・地域連携 DMO を中心に新たに事業計画書とそれに伴う事業報告書を作成。地域の関係者に説明するとともに、課題と目標、将来の方向性等を協議し、意識の共有を図る。
	・峡東地域の持続可能な観光地経営の実現に向け、経営戦略の策定などを行う際に、豊富な知見と経験を有する人材からアドバイスを受けるような体制の構築について、検討を進めていく。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	・ワインツーリズムの開催により、交流人口を増加させ、他に類をみない峡東地域の観光資源の魅力を発信し、観光客に新たな消費行動を提示するなど、サービスの維持を図っている。 ・また、ワインツーリズムの参加者にアンケートを行い、サービスの評価などを分析し、ツアーに関するワイナリーや民間事業者などに伝達する報告会を開催し、サービスの向上に努めている。 ・今後は、地域連携 DMO として、関係する団体と連携する中で、ワインツーリズム以外のイベント等においても、サービスの維持・向上・

	評価する体制を構築していく。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	・「峡東地域ワインリゾート推進協議会」の構成団体との連携や情報共有を図りながら、峡東地域の観光情報を整理し、見える化するとともに新たな観光資源を発掘し、ウェブサイトやSNS、ユーチューブ等で積極的に情報発信を行う。 ・ 今後は、地域連携DMOとして、当協議会中心となり、構成団体とより横断して、更なる効果的なプロモーション活動を実施していく。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

（1）必須K P I

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●旅行消費額 (億円)	目標				640 (集計方法 の検討)	670 (前年度比約 5%増加)	700 (前年度比約 5%増加)
	実績	508 (—)	573 (—)	集計中 (—)			
●延べ宿泊者数 (万人)	目標				140 (1)	150 (1.5)	160 (2)
	実績	88 (0.06)	134 (0.2)	集計中 (集計中)			
●来訪者満足度 (%)	目標				87.4 (自主事業に より調査)	87.9 (前年度から 0.5%増加)	88.4 (前年度から 0.5%増加)
	実績	78.7 (—)	86.4 (—)	集計中 (—)			
●リピーター率 (%)	目標				62 (自主事業に より調査)	64 (前年度から 2%増加)	66 (前年度から 2%増加)
	実績	53.3 (—)	54.9 (—)	集計中 (—)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

- ・ワインをはじめとした峡東地域の観光資源を活用した事業をより効果的に行っていくには、アンケート調査等による満足度・リピート率の調査に加えて、実際に地域の収益が上がった指標として消費額・宿泊者数の把握が必要であると考え。実績額は山梨県観光入込客数統計調査及び観光庁訪日外国人消費動向調査を利用して記載した。
- ・地域連携DMOとなった以後は、自主事業による調査と組み合わせながら地域の実態について把握し、「地域資源をゆったりと楽しむ」というコンセプトを目指すべく、適切な事業計画を作成していく。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

- ・これまでの「ワインツーリズムやまなし」等は来訪者数を絶対視せず、地域住民が観光客と直接コミュニケーションを取ることに主眼を置き、そのつながりによって観光客に地域の魅力を体感していただくことを目的として実施してきた。
- ・観光客に地域の魅力が伝われば伝わるほど、一人あたりの消費額は上昇していくため、「ワインツーリズムやまなし」をはじめとした特別な体験ができるなどの既存事業と、新規事業を組み合わせることにより、令和8年度までにコロナ禍前の水準（H31年度：684億円）を上回ることを目標

とし、R6 年度以降は毎年約 5%の増加を目指す。

- ・なお、消費データの蓄積が可能な決済システムを自主事業で構築しており、このシステムを峡東 3 市に広げていく等、多様な方法で調査を行う。

●延べ宿泊者数

- ・ワインをはじめとした峡東地域の魅力ある観光資源を活用した滞在型観光ツアーの造成と情報発信などにより宿泊者数の増加を図る。
- ・延べ宿泊者数については、令和 8 年度にコロナ禍前の水準（H31 年度：159 万人）を上回ることを目標とし、R6 年度以降は毎年 10 万人の増加を目指す。
- ・外国人の宿泊者数については、コロナ禍以後の宿泊者数の回復が遅れている状況が見受けられるため、今後の実績を蓄積しながら、まずは令和 8 年度に 2 万人を目標とし、R6 年度以降は毎年 5 千人ずつの増加を目指す。

●来訪者満足度

- ・観光客全体の満足度については、山梨県観光入込客数統計調査結果を踏まえ、R6 年度以降毎年 0.5%ずつ増加する目標とする（（日本遺産（葡萄酒畑が織りなす風景－山梨県峡東地域－）の次期地域活性化計画の目標値と同様とした））。
- ・外国人観光客については、今年度自主事業による調査を行い、R6 年度以降毎年 0.5%ずつ増加する目標とする。
- ・「ワインツーリズムやまなし」においては 70%（R6.5.18 実施アンケートより）と、参加者の満足度は高く、今後も事業を継続していく考え。行政の統計情報（山梨県観光入込客統計調査）等を活用しつつ、10 段階の評価等も検討していく。

●リピーター率

- ・R6 年 5 月 18 日に実施した「ワインツーリズムやまなし」のリピーター率のアンケートは 60%と高いことから継続的に実施するとともに、その他の事業については、リピーター率のアンケートを実施していないため、アンケート調査を行い。内容を充実しリピーター率の向上に努める。
- ・各種事業の内容の工夫により、R6 年度以降毎年 2%ずつ増加する目標とする。
- ・訪日外国人旅行者のリピーター率については、自主事業によりアンケート調査を実施し、R6 年度以降毎年 2%ずつ増加する目標とする。

(2) その他の目標

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●ワイナリー訪問者消費額 (円) ※R3、R4、R5年度はイベント・ワインツーリズム実施1日の数値 (67ワイナリー)	目標				7,500,000 (円)	8,500,000 (円)	9,500,000 (円)
	実績	3,500,000 (円)	4,500,000 (円)	6,800,000 (円)			
●平均滞在日数 (日) ※イベント・ワインツーリズム実施日 (2日間)の数値	目標				日帰り 40% 1泊 45% 2泊 13% 3泊以上 2% (%)	日帰り 35% 1泊 47% 2泊 15% 3泊以上 3% (%)	日帰り 30% 1泊 50% 2泊 17% 3泊以上 3% (%)
	実績	日帰り 58.2% 1泊 35.2% 2泊 5.4% 3泊以上 1.2% (%)	日帰り 47.7% 1泊 40% 2泊 10.8% 3泊以上 1.5% (%)	日帰り 42.8% 1泊 44.2% 2泊 11% 3泊以上 2% (%)			
●住民ボランティア参加者数 (人) ※ワインツーリズムなど事業実施時に参画している住民数	目標				200 (名)	250 (名)	300 (名)
	実績	80 (名)	100 (名)	150 (名)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

- ・(一社) ワインツーリズムが(1) 必須KPI以外の部分で特にデータ収集に努める事項について記載する。

【設定にあたっての考え方】

●ワイナリー訪問者消費額

- ・(一社) ワインツーリズムは地域の観光資源の中でも、ワインを中心とした観光誘客に注力していることから、地域の中心となるワイナリーの収益が向上することが必要であると考えている。
- ・地域全体とは別に、ワイナリー単体への来訪者数や消費額について自主事業により調査を行う。

●平均滞在日数

- ・温泉が多くあるエリアなどでの宿泊日数が増えるほど、温泉旅館やホテルだけでなく、地域の飲食店や交通事業者、小売などに消費も拡大していくため、このための事業は必須。
- ・首都圏から近いがゆえ、現在は日帰り旅行が多いものの、今後滞在型観光を確立し、滞在日数を増やすための事業を実施していく。

●住民参加者数

- ・行政や事業者以上に、峡東地域に暮らす住民が地域の文化や歴史、産業などに誇りを持つことこそ、(一社) ワインツーリズムが目指すべき目標である。そのためには、地域の課題や将来像を共有する場への住民参加が必要。
- ・「エリア会議」等を通して地域の将来戦略を住民にも普及させるとともに、活発な意見交換を行うことで住民の満足度の向上を図っていききたい。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2020（Ｒ２） 年度	5,256,114（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」参加費、オンラインツアーなど】 5,256,114（円） 全額自主財源
2021（Ｒ３） 年度	11,406,244（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」参加費、ワインマップ制作、電子スタンプを利用した観光キャンペーン、など】 11,406,244（円） うち自主財源 10,956,244 円 うち峡東地域WR推進協議会連携促進支援事業による補助 450,000 円
2022（Ｒ４） 年度	17,286,093（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」参加費、オンラインイベント、電子スタンプを利用した観光キャンペーン、など】 17,286,093（円） うち自主財源 16,836,093 円 うち峡東地域WR推進協議会連携促進支援事業による補助 450,000 円
2023（Ｒ５） 年度	23,294,422（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」参加費、ワインのある地域の歴史と食材を活用した屋外レストランイベント「ワイン＆フードフェスティバル」など】 24,331,768（円） うち自主財源 12,221,645 円 うち観光庁観光再始動事業による補助 12,110,123 円 （「ワイン＆フードフェスティバル」）
2024（Ｒ６） 年度	24,000,000（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」参加費、ワインツーリズムタクシー稼働実験など】 24,000,000（円）
2025（Ｒ７） 年度	35,000,000（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」参加費、ワインツーリズムタクシー、インバウンド向けプレミアムツアー、ふるさと納税（広域）、ワインのある地域の歴史と食材を活用した屋外レストランイベント「ワイン＆フードフェスティバル」など】 35,000,000（円）
2026（Ｒ８） 年度	50,000,000（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」参加費、ワインツーリズムタクシー

		一、インバウンド向けプレミアムツアー、ふるさと納税（広域）、ワインのある地域の歴史と食材を活用した屋外レストランイベント「ワイン&フードフェスティバル」、予約システム開発管理運営（ワイナリー、飲食店、交通、宿泊）、電子スタンプを活用した観光キャンペーンなど 50,000,000（円）
--	--	---

(2) 支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2020（R2） 年度	4,943,844（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」の開催費、一般管理費など】 4,943,844（円）
2021（R3） 年度	11,099,629（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」の開催費、一般管理費など】 11,099,629（円）
2022（R4） 年度	12,504,917（円）	【【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」の開催費、一般管理費など】 12,504,917（円）
2023（R5） 年度	22,185,102（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」参加費、ワインのある地域の歴史と食材を活用した屋外レストランイベント「ワイン&フードフェスティバル」開催費、一般管理費など】 22,185,102（円）
2024（R6） 年度	23,000,000（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」開催費、ワインツーリズムタクシー稼働費、一般管理費など】 23,000,000（円）
2025（R7） 年度	32,000,000（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」開催費、ワインツーリズムタクシー稼働費、インバウンド向けプレミアムツアー開催日、ふるさと納税（広域）、ワインのある地域の歴史と食材を活用した屋外レストランイベント「ワイン&フードフェスティバル」、一般管理費など】 32,000,000（円）
2026（R8） 年度	46,000,000（円）	【地域に新たな消費行動を生み出すための収益事業イベント「ワインツーリズム」開催費、ワインツーリズムタクシー稼働費、インバウンド向けプレミアムツアー開催日、ふるさと納税（広域）、ワインのある地域の歴史と食材を活用した屋外レストランイベント「ワイン&フードフェスティバル」、予約システム開発管理運営（ワイナリー、飲食店、交通、宿泊）、電子スタンプを活用した観光キャンペーン、一般管理費など】 46,000,000（円）

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

●笛吹市 e 街ギフト事業（旅先納税事業）を 2021 年より受託中。電子決済システム（電子スタンプ使用）を活用したふるさと納税を実施しており、この収益を自主活動の財源とする。また、山梨市、甲州市にも同様のシステムを導入するため、担当課を通じて協議を行っており、広域連携・消費動向データ収集・収益化を図っていく。

●甲州市ふるさと納税 返礼品（主にワイン）出品事業者（甲州市ふるさと納税事務局）

●EC サイトにてワインの販売 ※酒販免許（卸、通販）所有

その他、「ワインツーリズムやまなし」の継続的な開催等により、事業予算を確保する。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

山梨県、山梨市、笛吹市、甲州市は、一般社団法人ワインツーリズムを当該 3 市における地域連携 DMO として登録したいので、同法人とともに申請します。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携 DMO（県単位以外）や地域 DMO と重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

重複はない。

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	鶴田真也
担当部署名（役職）	C F O
郵便番号	409-1303
所在地	山梨県甲州市勝沼町小佐手 193-3
電話番号（直通）	090-8052-0946
F A X 番号	0553-37-4804
E - m a i l	shinya@tsuruko.co.jp

1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	山梨県
担当者氏名	村松 達也
担当部署名（役職）	観光文化・スポーツ部観光資源課（課長）
郵便番号	〒400-8501
所在地	山梨県甲府市丸の内1丁目6-1
電話番号（直通）	055-223-1573
FAX番号	055-223-1558
E-mail	kankou-sgn@pref.yamanashi.lg.jp

都道府県・市町村名	山梨市
担当者氏名	阿部 匡位
担当部署名（役職）	観光課観光企画担当 主幹
郵便番号	〒405-8501
所在地	山梨県山梨市小原西 843
電話番号（直通）	0553-20-1400
FAX番号	0553-23-1560
E-mail	abe-mdn@city.yamanashi.lg.jp

都道府県・市町村名	笛吹市
担当者氏名	角田 一満
担当部署名（役職）	産業観光部 観光商工課（課長）
郵便番号	〒406-8510
所在地	山梨県笛吹市石和町市部 777
電話番号（直通）	055-261-2034
FAX番号	055-262-8507
E-mail	Kankou01@city.fuefuki.lg.jp

都道府県・市町村名	甲州市
担当者氏名	網野 将也
担当部署名（役職）	甲州市勝沼ぶどうの丘（主任）
郵便番号	〒409-1302
所在地	山梨県甲州市勝沼町菱山 5093
電話番号（直通）	0553-44-2112
FAX番号	0553-44-2341
E-mail	amino-soy@budounooka.com

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
山梨県山梨市、山梨県笛吹市、山梨県甲州市

【設立時期】 2015年6月1日

【設立経緯】
①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設

【代表者】 大木 貴之

【マーケティング責任者(CMO)】 大木 貴之

【財務責任者(CFO)】 鶴田 真也

【職員数】 7人(常勤3人(正職員3人)、非常勤4人)

【主な収入】
収益事業 23百万円(R5年度決算)

【総支出】
事業費 21百万円、一般管理費 0.6百万円(R5年度決算)

【連携する主な事業者】
山梨県観光文化・スポーツ部観光資源課、笛吹市観光商工課、山梨市観光課、甲州市観光商工課・甲州市勝沼ぶどうの丘、(一社)笛吹市観光物産連盟、石和温泉観光協会、山梨市観光協会、甲州市観光協会、山梨県ワイン酒造協同組合、笛吹市ワイン会、山梨市ワイン振興会、勝沼ワイン協会、塩山ワインクラブ、(一社)山梨県バス協会、(一社)山梨県タクシー協会、石和温泉旅館協同組合、フルーツ山梨農業協同組合

KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年7月16日

※()内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行消費額 (億円)	目標				640 (集計方法の検討)	670 (前年度比約5%増加)	700 (前年度比約5%増加)
	実績	508 (-)	573 (-)	集計中 (-)			
延べ 宿泊者数 (万人)	目標				140 (1)	150 (1.5)	160 (2)
	実績	88 (0.06)	134 (0.2)	集計中 (集計中)			
来訪者 満足度 (%)	目標				87.4 (自主事業により調査)	87.9 (前年度から0.5%増加)	88.4 (前年度から0.5%増加)
	実績	78.7 (-)	86.4 (-)	集計中 (-)			
リピーター率 (%)	目標				62 (自主事業により調査)	64 (前年度から2%増加)	66 (前年度から2%増加)
	実績	53.3 (-)	54.9 (-)	集計中 (-)			

戦略

【主なターゲット】

- ・首都圏在住者、40～50代、リピーター(夫婦2人での旅行者)
- ・休暇を利用して、ワインやフルーツ、食、地域の文化などに関心が高い者

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

- ・首都圏から近い立地条件や日本一のワイナリー集積地、果樹王国やまなしを支える県下最大の果樹産地などの利点をフル活用したアプローチで誘客を促進する

【観光地域づくりのコンセプト】

「葡萄畑とワイン文化を体感するワインリゾート」
～地場産業を活用し持続可能な地域に～

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・産地をめぐり、地域を楽しむ旅「ワインツーリズムやまなし」の実施
- ・地域の食文化や伝統文化、自然、畑、神社仏閣、史跡、などを体感できるインバウンド向けプレミアムツアー

【受入環境整備】

- ・観光二次交通の整備(ワインツーリズムタクシー・バス)
- ・予約システム開発(地域事業者を一括予約管理／ワイナリー、飲食店、交通、宿泊)
- ・地域ガイドの養成活用

【情報発信・プロモーション】

- ・日本一のワイナリー集積地および果樹産地である 3市の情報発信を一元化
- ・電子スタンプを利用した周遊観光促進と観光データ収集事業「電子商品券プレゼント観光キャンペーン」



【その他】

- ・ワイナリー及び農業の担い手不足、醸造用ぶどう原料不足の改善事業「農作業体験、人材育成、情報提供」

